

Australia changed me!

藍住中学校 近藤 輝虎

僕は、オーストラリアへの海外派遣を通して、日本では経験できない貴重な体験をたくさんし、多くの事を学ぶことができました。

出発前は、「相手の英語を理解して話せるかな。」「オーストラリアの生活習慣や文化になじめるかな。」という不安を抱いていました。しかし、現地へ到着すると、ホストファミリーが明るく元気な方達で、温かく受け入れてくださったので、とても安心しました。

オーストラリアの食文化は、日本と少し違っていて、食事の前にお祈りをしました。また、箸を使わずに、フォークとナイフだけで食べたり、野菜にヨーグルトのようなものをのせて食べたりしました。食事の後には、ハドソン（16歳の男子）とゲームをしたり、オースティン（13歳の女子）とランニングやトランポリンをしたりして遊びました。夜には、湯舟の代わりに温水プールや冷水プールに入りました。日本ではできないことばかりで、とても楽しかったです。

学校へは、ハドソンやオースティンと一緒にスクールバスを利用して登校しました。バスの中では、いろいろな生徒達が話しかけてくれたのでよい思い出となりました。休み時間には、バディの人達とバレーボールやバスケット、サッカーをしたり、話をしたりしました。みんなとてもフレンドリーで優しいので、とても仲良くなれました。しかし、僕が英語をもっと話せたら、もっと楽しめたかなとも思いました。文化交流会では、日本の遊びや阿波踊りをして楽しみました。



家族で行った基督教のパーティーには、大勢の人が来ていました。バディの人達もいたので、一緒に話をしたり、写真を撮ったりしました。また、日本語が上手に話せるネオという人にも会いました。このパーティーのことや、オーストラリアや日本のことなどについて話をしました。オーストラリアで初めて日本語を話せる外国人と出会い、安心しました。



遠足では、ワイルドライフパークという動物園に行きました。ここでは、コアラやディンゴを見たり、カンガルーやトカゲ、ヘビを触ったりして、とても楽しかったです。

また、一日観光で行ったブルーマウンテンからの雄大な景色やオペラハウスやシドニーの美しい街並みなどにも感動しました。

僕は、この10日間がとても楽しく、素晴らしい思い出になりました。一番心に残っていることは、オーストラリアの人達の優しさとフレンドリーな人柄です。僕も話しかけられるのを待つのではなく、自分から話しかけられる人になりたいと思いました。これは、オーストラリアに行き、現地の人と関わることができたからこそ感じられたことだと思います。

僕は、この海外派遣に参加することができて、本当によかったと思います。お世話になったすべての方々から感謝しています。この経験を今後の人生に生かしていきたいです。ありがとうございました。

